

【患者さま説明用】

(和歌山県版) 早期乳がん術後診療地域連携クリティカルパス

乳がん術後の経過観察について

●● ●● さん

計画策定病院 : ●●病院 乳腺外科: ●● ●●

【病気について】

- 1 術後病理病期(進行度)や乳がんの悪性度の詳細は別にお話しします。
- 2 術後はかかりつけ医(連携医療機関)の先生と一緒に診させていただきますので、大体の予定を書いてあります。

【術後補助ホルモン療法について】

- 1 抗エストロゲン剤ないしアロマターゼ阻害剤の服用を5年間行います(無投薬の場合もあります)。
- 2 副作用の管理、減量、中止などの判断は、かかりつけ医の先生にお願いしています。
- 3 判断が難しい場合は、かかりつけ医の先生からこちらの病院に連絡してくれます。

【観察時期】

- 1 ほぼ標準的な観察時期を示してありますが、体調などによって多少変更します。
- 2 がん診療連携拠点病院等(計画策定病院)での次回の検査、受診の予定はこちらの病院で予約を取らせて頂いております。
- 3 その間の外来受診はかかりつけ医の先生にお願いしています。
- 4 10年を目標に頑張りましょう。
- 5 治療内容によっては来院期間の変更をする事もあります。

【緊急時など】

緊急時には、かかりつけ医の先生の判断で、外科外来や救命救急センターに連絡をしてくれますので心配ありません。

【検査】 血液検査の有無や間隔は施設により異なります。

- 1 マンモグラフィは術後1年毎にがん診療連携拠点病院等(計画策定病院)で行います。
- 2 血液検査は、6ヶ月毎にがん診療連携拠点病院等(計画策定病院)で行います。

【全身検索】 全身検索の有無や方法は施設により異なります。

検査予定については、経過表をご覧ください。

上記にかかわらず、症状がある場合は直ちに検査を予定します。かかりつけ医の先生にご相談して予約を取ってもらって下さい。

【調剤薬局説明用】

(和歌山県版)早期乳がん術後診療地域連携クリティカルパス

●● ●● さんの乳がん術後のホルモン剤内服について

担当調剤薬局 様

この患者さんは、早期の乳がんで手術を施行しました。

術後補助療法として、ホルモン剤の内服を5年間行います。

地域連携クリティカルパスに基づき、がん診療連携拠点病院等(計画策定病院)とかかりつけ医(連携医療機関)の先生で連携をとって治療を行います。

副作用の管理、投薬中止などの判断は、連携医療機関の先生にお願いしていますが、判断が難しい場合は、計画策定病院の医師が行います。

初回投与のみ、計画策定病院で処方しています。

ホルモン剤内服開始早期によく見られる副作用は、hot flash(ほてり)です。

タモキシフェン内服で注意しなければならない副作用としては、子宮内膜がんの発現比率の上昇です。

不整性器出血などの症状を認めた場合、婦人科受診を勧めて下さい。

また中性脂肪の上昇や肝機能異常も見られることがあります。

アロマターゼ阻害剤では、内服開始当初に関節痛や筋肉痛が見られる事があります。

子宮内膜がんの発生は問題とはなりません、骨密度の低下とコレステロール上昇には注意する必要があります。

計画策定病院 : ●●病院 乳腺外科: ●● ●●

【連携医療機関説明用】

(和歌山県版) 早期乳がん術後診療地域連携クリティカルパス

乳がん術後の経過観察について

【患者さんへの説明】

- 1 病理病期(別記)についてはお話ししてあります。
- 2 術後はかかりつけ医(連携医療機関)の先生と一緒に連携して診させて頂きたい旨、説明させて頂きました。

【観察時期】

- 1 ほぼ標準的な観察時期を示してありますが、病態によって多少の変更を致します。
- 2 がん診療連携拠点病院等(計画策定病院)への次回の再診予約はこちらで取らせて戴きます。
- 3 観察期間は一応5年を目標と致します。
- 4 再発時などでは病態・治療方法により、直ちに更改致します。

【緊急時など】

- 1 緊急時・再発時などには何時でも外来・救命救急センターにて対処致します。
ご連絡下さい。

【ホルモン剤の内服について】

- 1 術後5年間●●●●の内服を行う予定です。
- 2 内服は開始しておりますので、以降の管理をお願いします。
- 3 計画策定病院受診時には血液検査も施行します。

【全身検索】

検査予定については、経過表をご覧ください。

上記にかかわらず、症状がある場合は何時でもご紹介賜いましたら、可及的すみやかに検査を行い報告申し上げます。

ホルモン剤内服開始早期によく見られる副作用は、hot flash(ほてり)です。

タモキシフェン内服で注意しなければならない副作用としては、子宮内膜がんの発現比率の上昇です。

不整性器出血などの症状を認めた場合、婦人科受診を勧めて下さい。

また中性脂肪の上昇や肝機能異常も見られることがあります。

アロマターゼ阻害剤では、内服開始当初に関節痛や筋肉痛が見られる事があります。

子宮内膜がんの発生は問題とはなりません、骨密度の低下とコレステロール上昇には注意する必要があります。

計画策定病院 : ●●病院 乳腺外科: ●● ●●